

区内企業 8 社の開発商品について
～BEAMS JAPAN による新商品開発支援事業～

(1) 葵会 (台東区浅草橋)



つまみ細工の教室・作品販売のほか、ハレの日や普段使い双方のアクセサリ等をお好みに合わせて制作。「つまみ細工」とは江戸時代から続く日本の伝統工芸であり、小さな正方形にカットした布をつまんで折りたたみ、花などの形を作る技法。

【開発商品について】

「つまみ細工をより多くの方々に知っていただきたい」という想いから、伝統的なつまみ細工の技術を駆使した作品や、より身近に取り入れることのできるアクセサリ・インテリアグッズを制作。

(2) and/or(アンドオア) (台東区上野桜木)



”体に優しい”を追求し、”楽しく健康に”を続ける新習慣グラノーラを提供するブランド。個性豊かなフレーバーに、有機食材や無添加、スーパーフードを使用し、グルテンフリー製品として、上野公園近くの実店舗で丁寧に製造を行う。

【開発商品について】

新しいグラノーラのかたちとして、「和の要素を取り入れた挑戦をしたい」という想いのもと、抹茶や黒糖、七味などの新フレーバー、喜多川歌麿や写楽をパッケージに用いた、和グラノーラを制作。

(3) くるみボタン工房 MiSuZuYa (台東区鳥越)



くるみボタン&バックルの製造卸・小売販売を行う。日本でも数えるほどしかないくるみボタン製造業者の中でも、自社オリジナルのくるみボタンを製造販売するのは MiSuZuYa のみ。その他ロボンの加工・ロゼットの製造も自社工場で行う。

【開発商品について】

「日本の文化としてくるみボタンをさりげなく生活に取り入れてほしい」という想いのもと、浮世絵などの江戸文化をモチーフにした、くるみボタンやロゼット、ブローチなどのアクセサリを制作。

(4) TOKYO L (台東区浅草)



150年近い歴史をもつ「皮革製品のモノづくりの街」である浅草地域のメーカー・職人と一線で活躍するデザイナーが集まり、浅草エーラウンド実行委員会プロデュースのもと、革のデザイン・プロダクトを開発するプロジェクト。

【開発商品について】

「和の魅力の再発見・レザー製品にはない新しいスタイルを提案したい」という思いから、レザーと和を掛け合わせたモダンなデザインにすることで、若年層のお客様にも日常的に使っていただけるようなレザーアイテムを制作。

(5) 有限会社箱義桐箱店 (台東区東上野)



明治元年の創業以来、様々な箱を製作する桐箱専門店。桐が持つ調湿・防虫効果から湿度の高い日本にて長きにわたり愛されてきた。1点からオーダーメイドが可能で、既製品も300種類以上。

【開発商品について】

「桐箱が脇役ではなく主役になって欲しい」という思いから江戸百景をテーマに箱にデザインを施し、インテリアとしても楽しむことのできる桐箱を制作。

(6) 株式会社ベルハウス (台東区雷門)



幅広いキャラクターのグッズの企画・製造・販売まで一貫した商品化を行う。キャラクターモチーフや好きなものを”ぎゅぎゅっと”している姿が特徴のオリジナル描き起こしデフォルメシリーズが人気商品。

【開発商品について】

「江戸時代や”和”の文化を取り入れたキャラクターグッズに挑戦したい」という思いから、江戸時代に活躍した人物をオリジナルで描き起こしたキャラクターと、浮世絵を組み合わせたアクリルスタンドを制作。

(7) 松下商店 (台東区浅草)



創業以来百余年、浅草で4世代継承する数少ない老舗の縁起熊手店。一つ一つ手づくりにこだわり、伝統を守り続ける。江戸の昔から愛され、檜の笏(しゃく)が扇状に広がる「檜扇熊手」は松下オリジナルで、末広がり縁起の良い形が人気。

【開発商品について】

「伝統工芸品を日常に取り入れやすくしたい」という想いのもと、現代的な感性を吹き込み、インパクトのあるカラーとデザインの熊手を制作。

(8) 株式会社マルコ (台東区蔵前)



防災用品からクラフト材料、シューケア用品まで幅広いオリジナル商品の企画・販売を行う。自社で< PARACO のパラコード >を立ち上げ、アメリカの軍用で使用されていたパラシュート用ロープを基に、日本独自の色とテーマに基づいた全く新しい解釈で製品を展開。

【開発商品について】

「葛飾北斎の作品をイメージしたオリジナルパラコードを使い、今まで挑戦したことのないファッションアイテムの商品開発をしたい」という想いのもと、パラコードのポテンシャルを活かしたバッグ・ベルトを制作。